

「ほくほくフェスタ」を開催しました

平成27年10月23日(金)に港北公会堂を中心に「港北ほくほくフェスタ」を開催しました。

第1部の第33回「港北区社会福祉大会」では、区社会福祉協議会から永年にわたって地域の社会福祉活動等に携われ、ご尽力いただいた個人・団体に対して、慰労と感謝の気持ちを込め、表彰状（福祉活動・永年会員功労）・感謝状（金品寄附功労）をお渡ししました。

第2部では、『港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」これまでとこれから』をテーマとして、区民フォーラムを開催しました。

港北区での地域福祉保健計画の取組が始まって10年目となる今年は、平成28年からスタートする第3期計画の策定が佳境に入っています。特に連合町内会を単位とする13の地区ごとに策定している地区計画では、地域の皆様が中心となって熱心に議論、検討いただきながら計画づくりに取り組んでいるところです。

今回の区民フォーラムでは、第1期港北地域福祉保健計画から策定・推進にかかわっている株式会社地域計画研究所の内海宏所長をコメントーターに迎え、地区計画の策定を進めている各地区の代表者より、これまでの取組の振り返りや成果と第3期計画に向けた思いやこれからの取組の抱負などについて発表いただきました。

内海所長からは、「港北区は、各地区が毎年取組を振り返り、また、新たな課題にも取り組むことで、市内の他区と比較しても地域の方々がとても力をつけていることを改めて実感した」との感想をいただきました。

▶▶▶ 第3期計画の地区計画づくりが進んでいます!



社会福祉大会



区民フォーラム

1 日吉地区

5地区ケア連絡会を活動の基盤とし、自治会町内会、関係団体・機関が協力して取組を進めます。交流サロンの活発化、災害時要援護者の仕組みづくり、ホームページのタイムリーな更新など既存活動の充実を目指します。より多くの住民が日常生活の中で顔を合わせる機会を設けることで、災害時の助けあいにもつなげていきます。

3 大曽根地区

大曽根は高齢者が多い地区ですが、新築戸建を中心に乳幼児のいる世帯も増えています。世代を超えて住民が交流し、地域とつながるきっかけづくりとなるよう、情報発信や、地域に数多くあるサロンなどの活動を充実し、より小さな交流の場づくりにも取り組めます。また、町内会と民生委員等が連携し、安全安心の取組に力を入れます。

5 菊名地区

エリアが広い菊名地区では、3つのエリアごとの地域の特徴にあわせて計画を推進します。3地区の共通テーマを設けて活動に取り組む他、菊名北地区は「高齢者110番」の充実、大豆戸地区はラジオ体操による世代間交流と健康づくり、山坂の多い篠原北地区は散歩中も休憩できるベンチの設置と高齢者の見守り活動の充実に取り組めます。

2 綱島地区

行事や地域活動の場、趣味の活動を通じて、できるだけたくさんの世代の交流の場をつくり、住民同士の顔の見える関係づくりを進めます。特に子どもの参加を促すことによって、子どもたちに地域への愛着を感じてほしいと思っています。今まで取り組んできた災害時要援護者支援の取組や情報発信をさらに発展させ、取り組んでいきます。

4 樽町地区

①これまでの住民交流の取組の継続、充実、②子育てや支援が必要な方への地域でできる支援の検討、③きめ細かな支援の輪を広げていく活動や、災害時に備えた自主防災の仕組みづくりの推進、④情報発信などの取組を進め、さらに深めることによって、『思いあい(愛)の町、樽町』が老若男女のふるさとになることを願っています。

6 師岡地区

2期計画で取り組んできた情報発信と災害時要援護者支援の活動は、連合町内会の事業として引き続き取り組みます。あわせて、次世代育成に力を入れ、「ひろがる」から「ひろげる」、「つながる」から「つなげる」、「とどく」から「とどける」へと、地域の団体が連携しながら、みんなで積極的に計画推進を行います。

8 篠原地区

3期計画では、現在展開している事業（障がい児放課後余暇支援「とも・とも篠原」、ホームページ「わがまち篠原」）の充実を図っていくとともに、地域で活動する団体の連携強化に力を入れて取り組んでいきます。子育てサークルと地域ミニデいの交流や、福祉活動団体連絡協議会の設置に取り組んでいきます。

10 新羽地区

町会長、民生委員、各団体代表による策定委員会を開催し議論してきました。3期計画では、地域ケアプラザとも連携しながら、次の柱に取り組めます。

- ① 子どもと地域のつながりをつくる活動、② 自然や歴史を活用した健康づくり活動の推進、③ 住民同士の交流と孤立防止の取組、④ 災害時要援護者支援の具体的な計画立案、⑤ 情報発信の取組

12 新吉田あすなろ地区

認知症の徘徊高齢者の見守り「さがしてネット」の活動への理解がさらに広がるための工夫を行います。また、学校と連携し、認知症や支援が必要な人への理解について小中学生やその親への啓発を行っていきます。健康づくりと交流を充実するため、様々なスポーツで異世代交流を進め、災害時要援護者支援についても取り組みます。

7 大倉山地区

マンションの建設等で新しい住民が増えており、一方で高齢者も年々増加しています。3期計画では、住民の意見を伺いながら、支援が必要な人へ見守り等の取組とあわせて、「大倉山鶴見川かわまちづくり計画」とも連動し、新旧、世代を問わず住民が活発に交流し、高齢者が元気で活躍するまちづくりへの取組を行います。

9 城郷地区

城郷地区の次期計画では、2期計画までの実績を踏まえ、次のことを目指し、今後さらに具体的な取組を議論します。

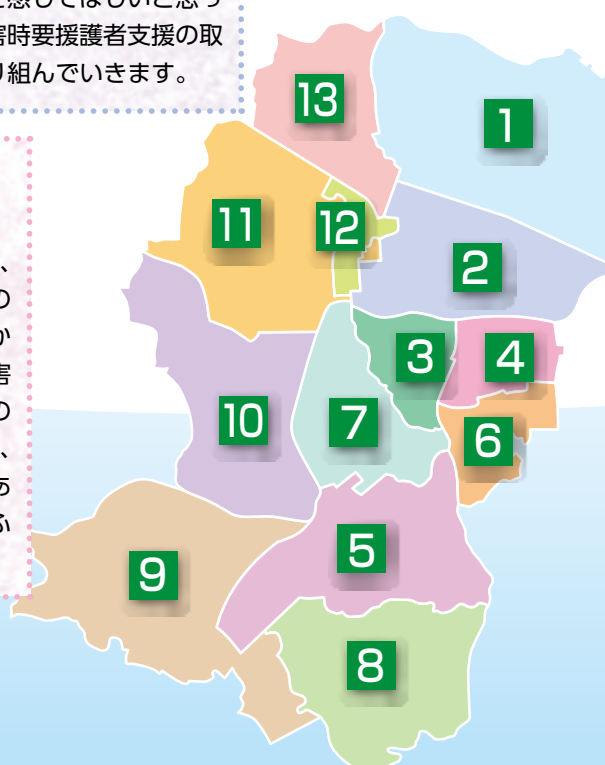
- (1) 住民交流で顔の見える関係づくりを進めます。
- (2) 地域活動への理解が広がり、多くの人達が活動に参加できる環境を整えます。
- (3) 子育て世代や障がい者の居場所づくり等支援や活動を推進します。

11 新吉田地区

5つの分科会を立ち上げて、取組内容を検討しています。3期計画では「災害時要援護者の支援」「高齢者への支援」「子育て世帯への支援」の3本の柱に「健康づくり」を新たに加え、4本の柱で展開していきます。地区で行われているさまざまな活動の充実と参加する人材の育成を検討していきます。

13 高田地区

連合町内会と地区社会福祉協議会は、お互いの活動を充実し、連携を深めていきます。2期計画で進めてきた災害時要援護者支援の取組を充実するとともに、民生委員、地域ケアプラザとも協力して、地域で活動している団体の顔の見える関係づくり、子育てに関わる人や施設のネットワークづくりなどに取り組んでいきます。



今後の予定・問合せ先

- \*今後の予定 「ひっとプラン港北」第3期計画素案を12月下旬に公表する予定です。素案について区民の皆様からのご意見をお寄せください。
- \*問合せ 港北区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当  
 ☎ 540-2360 FAX 540-2368 ✉ ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp  
 HP http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuhokeikaku.html  
 港北区社会福祉協議会  
 ☎ 547-2324 FAX 531-9561 ✉ info@kouhoku-shakyo.jp  
 HP https://www.jnw.com/kouhoku/index.html